

## 日本分析化学会九州支部2013年度第2回常任幹事会議事録

日時:2014年2月22日(土) 13:30-16:00

会場:九州大学筑紫地区先導物質化学研究所中央棟1階108会議室

参加者:原田 明(九大院総理工・支部長)、甲斐 雅亮(長崎大学院医歯薬・本部理事/監査)、澤津橋 徹哉(三菱重工(株)・監査)、松井 利郎(九大院農・次期支部長)、吉留 俊史(鹿児島大院理工・副支部長)、井倉 則之(九大院農・次期庶務幹事)、田中 充(九大院農・次期会計幹事)、川上健次((株)ジェイ・サイエンス西日本)、河津 博文(近畿大産業理工)、下田 満哉(九大院農)、高椋 利幸(佐賀大理工)、新留 康郎(九大院工)、西田 正志(崇城大学工)、浜瀬 健司(九大院薬)、山口 敏男(福岡大理)、和田 光弘(長崎大院医歯薬)、中野 幸二(九大院工・Anal. Sci. 編集委)、石岡 寿雄(九大院総理工・庶務幹事)、磯田 美紀(九大院総理工・会計幹事) (敬称略) 合計19名

### 1. 報告

#### 1-1 2013年度支部事業経過報告

##### 1-1-1 報告済事業

原田支部長より以下の幹事会承認事項について報告された。

- ・九州分析化学若手の会
- ・九州分析化学会賞・奨励賞
- ・第50回化学関連支部合同九州大会・九州分析化学ポスター賞
- ・第54回分析化学講習会
- ・学会共催

##### 1-1-2 支部関連会議

原田支部長より2013年度に開催した支部関連会議について報告された。

##### 1-1-3 九州支部講演会・見学会

原田支部長より支部講演会(参加者30名)・見学会(参加者22名)について報告された。

期日:平成25年11月8日(金) 10:00~16:00

会場:九州大学筑紫地区総合研究棟

および一般財団法人化学物質評価研究機構久留米事業所

##### 1-1-4 機器分析ワークショップ

川上常任幹事より、今年度行われた機器分析ワークショップのうち、幹事会以降に実施した以下の分について報告がなされた。

##### ○久留米会場

日時:2013年11月21日(木) 13:30~16:40

会場: 榑久留米ビジネスプラザ(D会議室)

参加人数: 15名

○熊本会場

日時: 2013年11月22日(金) 13:30~16:40

会場: 熊本大学理学部2号館2F

参加人数: 38名

1-2 理事会報告

甲斐理事より、第5回(2013年12月20日)、第6回(2014年2月14日)の理事会に関する報告があった。謝金に関する規定について(謝金の金額を同一の基準で支出する)の通達、名誉会員や永年会員に関する今後の方針について各支部で意見を求められていること(九州支部の意見として、永年会員を減らす、支部長を推薦枠から外す、などの案が話し合われた)、年会のローテーションの変更についての提案、年会のプログラム編成(ポスターと口頭発表の時間、授賞式)に関しての会長の強い要望など、報告があった。

1-3 本部・支部連絡会議報告

原田支部長より第3回本部・支部連絡会議(2013年12月13日)に関して、支部長任期の2年化については各支部の判断でよくなったこと、標準物質のダイオキシンの処理、支部規約の現状について(九州支部としては現状で特に問題は無い)等、報告がなされた。

1-4 2013年度支部会計報告

原田支部長より2013年度支部会計(2014年2月22日現在)について報告がなされた。

1-5 各誌編集委員会報告

中野「Anal.Sci.」編集委員より編集委員会報告がされた。記念Tシャツの件、Asianalysis報告記事、科研費と外注の状況について説明がなされた。また別刷に関して、購入が重要な収入源である旨、質問に対する回答がなされた。

神崎「分析化学」編集委員が欠席であったため、原田支部長が代理で報告を行った。分析化学討論会の特集論文について募集があること、編集委員の交代(呉 幹事)があることについて説明がなされた。

松井「ぶんせき」編集委員より編集委員会報告がされた。また次年度より高椋常任幹事が編集委員を担当する旨説明があった。

## 2. 議事

2-1 2014年度支部・本部関係役員

2014年度の支部役員、本部役員について、「分析化学」編集委員の修正(神崎 亮 → 呉 行正)を経た後、承認された。

2-2 支部役員の変更について

幹事会までの承認事項6名について報告がなされた。また幹事会以降、3名の退任の案件に関し、再確認が必要である旨提案がされ、2013年度庶務幹事が確認のうえ、2014年度庶務幹事に申し送りを行うこととなった。

#### 2-3 2014年度支部予算案

原田支部長より2014年度支部予算案について説明がなされた。若手の会が55万に増額されている点について質問がなされ、北海道支部への派遣費用との説明であったが、50万の中で配分をするのがこれまでのやり方であり、修正すべきという結論となった。また会議費用が予定よりも小額であったこと、上記若手の会の減額をふまえ、年会準備基金に可能な金額を積み増すということで意見の一致を見た。修正に関しては、次年度執行部に一任された。

#### 2-4 2014年度支部事業計画案

原田支部長より2014年度の事業計画について説明があり、承認された。

#### 2-5 2015年度日本分析化学会年会準備状況

原田支部長より、年会の準備状況について報告があった。懇親会会場の詳細が決定したこと、九州大学の教育プログラムとのジョイントによる外国人講演者の人数確保とそれによる補助金の申請かつ講義室使用料の無料化等、今後の検討課題について説明がなされた。

#### 2-6 九州分析化学奨励賞規定の変更

幹事会にて承認された規定の変更について、正式な文面を提示し、確認された。

2-7 第51回化学関連支部合同九州大会、九州分析化学若手の会第27回春の講演会、同第32回夏季セミナーについて確認了承された。

以上